

本県のALTの配置状況等

●九州各県のALT配置率（H30 本県調べ）

県名	県立高校数(a) ※全日制のみ ※分校は除く	県立高校への ALT配置人数 (b)	1校あたりのALT 配置率 (b)/(a)
長崎県	54	51	94.4%
宮崎県	39	36	92.3%
沖縄県	60	50	83.3%
福岡県	94	73	77.7%
大分県	38	26	68.4%
鹿児島県	61	38	62.3%
熊本県	50	23	46.0%
佐賀県	39	16	41.0%

○本県のALT配置状況は、九州内でワースト2位であり、本県の生徒がALTとふれあう機会は十分とはいえない

●本県のALT重点配置による成果

1 英検取得者数の増加

	重点配置前 H27年度	重点配置後 H29年度	増加数	増加率
準1級	7	12	5	171%
2級	301	412	111	137%
準2級	744	861	117	116%
合計	1052	1285	233	122%

2 取組事例

- ・スピーキングテストやライティングテストの評価
- ・英語授業以外でのALTの活用（例）理系専攻のALTが理科の実験を担当
- ・各種英語コンテスト出場に向けての指導
 - ※H30 英語ディベートコンテストには、重点配置8校中7校が出場
- ・TED×Kumamoto 等、英語プレゼンテーションの指導
- ・水俣条約親善大使に任命された生徒へのスピーチ指導 等

○重点配置（ALT 1名が常駐）により、一定の成果が見られる

※重点配置：H28年度から、県立高校8校（済々黉、第一、熊本北、東稜、玉名、宇土、八代、水俣）を対象に行い、成果の検証を進めている